

## インテリアエレメント生産（インテリア類型）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	2	学科・学年	建築インテリア科 3年（選択）
使用教科書	インテリアエレメント生産（海文堂）				
副教材等	担当教員が配布するプリント				

## 「インテリアエレメント生産」はどんな科目？

インテリアは「室内」、エレメントは「要素」という意味があります。  
従って、「室内」を構成するための「要素」として、家具、窓やドア、照明器具など、これらを生産するための材料、加工方法、また仕組みについて学びます。

## 「インテリアエレメント生産」の学習の特徴は？

日常生活における具体例を挙げ、また実物を見ながら授業展開します。

## 「インテリアエレメント生産」で大切なこと（留意点）は？

インテリアエレメント生産という専門科目を知識として理解するだけではなく、インテリア実習などの体験的学習に活用できることが大切です。

## 1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	第2章 エレメントの構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>建具は日常生活において実際に目にし、使用しているものなので、日常体験から生徒に確認し授業展開する。</li> <li>また、実物を教材として提示することで、理解を深めることができる。</li> </ul>
	5	第2節 建具 第1 建具の分類 ＜中間考査＞	
	6	第2 内部用建具 障子、唐戸、フラッシュ戸、襖、 フラッシュ戸、まいら戸	
	7	＜期末考査＞	
2 学 期	9	第3 外部用建具 玄関戸類、アルミニウムサッシ 雨戸、よろい戸	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部用建具は風・雨・熱・音などの遮断、盗難防止、採光のほか防火などいくつかの機能が要求されるため、その機能と構造を理解し、検証する。</li> <li>金具類は、多種多様であるが、その代表的な金物について学習する。</li> <li>テキスタイル（織物・布地）の機能を学び、椅子の張り地については、製作過程と構造を学習する。</li> </ul>
	10	第4 金具類 ＜中間考査＞	
	11	第3節 テキスタイル製品 第1 カーテン 第2 椅子張り地 第3 カーペット	
	12	第4 ホームリネン、寝具 ＜期末考査＞	
3 学 期	1	第3章 生産技術 第1節 木材加工	<ul style="list-style-type: none"> <li>木工機械の基本構造と加工内容を中心に、作業中の注意点について学習する。</li> </ul>
	2	第1 生産設備と加工 ＜学年末考査＞	

## 2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

観点	評価規準	評価内容
関心・意欲・態度	インテリア産業を中心とする空間の要素に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、工業社会に生きる一員としての責任を果たそうとする。	・行動観察 （授業態度、出席状況） ・ノート
思考・判断・表現	インテリアエレメント生産を中心とする専門分野の知識をもとに生活全般に対する課題を設計・計画の立場から多面的・多角的に考察するとともに工業社会の変化を踏まえ公正に判断する。また、理論と実際を追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	・定期考査 ・レポート
技能	インテリアエレメント生産の内容を視覚的にも把握できるよう図版など諸資料を収集する。	・ノート （プリントのまとめ方）
知識・理解	インテリアエレメント生産について、空間の構成や素材の特徴を把握し、空間設計に必要な基本的知識を身につけるとともに企画・設計・施工と関連づけ理解する。	・定期考査

また、1年間の評定は、年間を通じて上記の内容を総合的に判断して評価します。

## 3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

その道のプロを目指してがんばろう！